◇◇◇◆◇◆◇◆◇◇◇◇◆◆◆◆◆◇◇◇◇◆◇◆◇◆◇◇◇

FAMIC（ファミック）

独立行政法人　農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン　第９５２号（一部抜粋）

◇◇◇◆◇◆◇◆◇◇◇◇◆◆◆◆◆◇◇◇◇◆◇◆◇◆◇◇◇

令和４年１２月２１日

〜〜

５．　◇◇　最近の話題・キーワード　◇◇

◆　ISO/TC34/SC17 総会と WG11 会合開催（一部対面形式の再開）　◆

〜〜

2022 年 11 月１日と２日に第８回 ISO/TC34/SC17/WG11（食品安全前提条件プログラム（PRP）の作業グループ（以下「WG11」））会合が、同月３日に第 12 回 ISO/TC34/SC17（食品安全マネジメントシステム（FSMS））総会（以下「SC17 総会」）が、それぞれ対面形式と web 形式をミックスしたハイブリッド形式により開催されました。

アメリカミネソタ州ミネアポリスに、日本からは専門家２名及び FAMIC 職員１名が現地参加、その他専門家３名が Web 参加しました。対面形式での参加は、約３年ぶりとなりました。

さて、第８回 WG11 会合では、13 ヶ国から集まった食品安全の専門家が ISO22000：2018 に基づく FSMS の基礎となる PRP の議論を行いました。

この結果、WG11 は ISO22002-100 というフードチェーン全体に共通する PRP 要求事項の規格開発を開始するとともに、食品製造等のフードチェーン各分野における既存の PRP 要求事項の規格も見直すことになりました。

なお、農業分野の PRP については、農業分野で FSMS の開発経験を有する専門家を募ることになりました。

WG11 会合翌日に開催された第 12 回 SC17 総会では、34 ヶ国から集まった参加者が、WG11 の内容を含めた幅広い議論を行いました。

主な内容は、ISO22002-100 開発の開始を承認、ISO22003-1：2022（FSMS の審査・認証を行う機関に対する要求事項）及び ISO22003-2：2022（食品安全システムの審査を含む製品等の評価・認証を行う機関に対する要求事項）を担当した作業グループ解散の承認等でした。

今回のハイブリッド開催は初の試みでしたが、通信障害等は発生せず予定どおり議事が終了しました。

また、対面形式により意見交換を行うことは、専門家間の関係構築に有意義であることを再認識しました。

次回は、2023 年 11 月にシンガポールにて WG11 会合及び SC17 総会を対面開催することが検討されています。